

ふるさとふちゅう

再発見

【第53回】府中が農村だったころ（13）～溜池（2）

地図は明治32（1899）年の鹿籠周辺の地図です。一番大きい長田（永田）池のほか鵜崎池・朝泊池・日焼け谷池などが確認できます。この頃には農村府中村の灌漑用水として重要な役割を果たしていたことが分かります。しかし府中町は昭和30年代から広島市近郊の住宅地として大きな変貌を遂げ、田畑が急激に減少し、農業用水も必要性が低くなります。この結果、多くの溜池が埋め立てられました。現在の姿からは想像できませんが、滑り台やブランコなどで子供たちが遊ぶ鵜崎児童遊園は鵜崎池を埋め立てて造られた公園です。埋め立ての時期は確認できませんでしたが、遊園の開設日が昭和48年10月なので、その前なのでしょう。府中町の農地が減少し、人口が急増した時期です。また引地池も公園になりました。令和5年段階で府中町が農業用ため池として公表していたのは永田・石コロビ池・水分堰堤・午王田（上段・午王田（下段）の5か所です。



引地公園



鵜崎公園



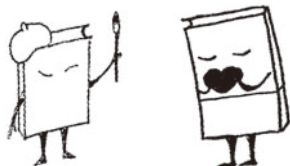
府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

図書館からの 今月読むならコレ！

町立図書館 ☎286-3405

図書館職員が
選んだおすすめ
図書を紹介



湯気を食べる

くどう れいん／著 オレンジページ／出版

「湯気を食べる」・・・？その答えには筆者の「食」へのこだわりが詰まっています。食べること、料理することが大好きな筆者の「食べること」にまつわるエッセイ集。思わずクスッと笑えるエピソードに心が温かくなります。



じんせいはいしがみついてなんぼです

木坂 涼／詩 長谷川 義史／絵 フレーベル館／出版

どうぶつたちの“こころのこえ”をきいてみよう！さばくにすむサソリや、うみをめざしておよぐサケ。そのつぶやきに、じーんとしたり、ハッと気づかされたり・・・。おとなもたのしめる、どうぶつたちのししゅうです。



LINE

広報ふちゅうが
毎月1日に
配信されるんよ！

そりゃー、LINEで
友だち追加
せんとな！

うん！
すぐするけんね！



府中町 LINE 公式アカウント 友だち募集中！

毎月1日の朝に広報ふちゅうを配信しています。また、防災情報や暮らしの情報も。

友だち追加はこちら▶

